

2006年7月期中間決算説明会



日本駐車場開発株式会社
(証券コード 2353)

2006年7月期中間決算のポイント

経常利益の大幅な増加

地方展開への新たな取り組み

IPO・IRコンサルティングの開始

駐車場以外の素材への事業展開



NIPPON PARKING DEVELOPMENT

2006年7月期中間決算の概況

決算ハイライト【連結】



NIPPON PARKING DEVELOPMENT

	<u>'06/01期</u> (百万円)	<u>'05/01期</u> (百万円)	<u>前年同期比</u> (%)	<u>計画比</u> *
売上高	2,623	2,130	123.1	97.9
売上総利益	1,111	907	122.4	-
営業利益	526	434	121.3	-
経常利益	846	429	196.8	105.8
当期純利益	499	265	188.1	107.7

* : 05年11月発表修正計画対比

決算ハイライト【単体】



NIPPON PARKING DEVELOPMENT

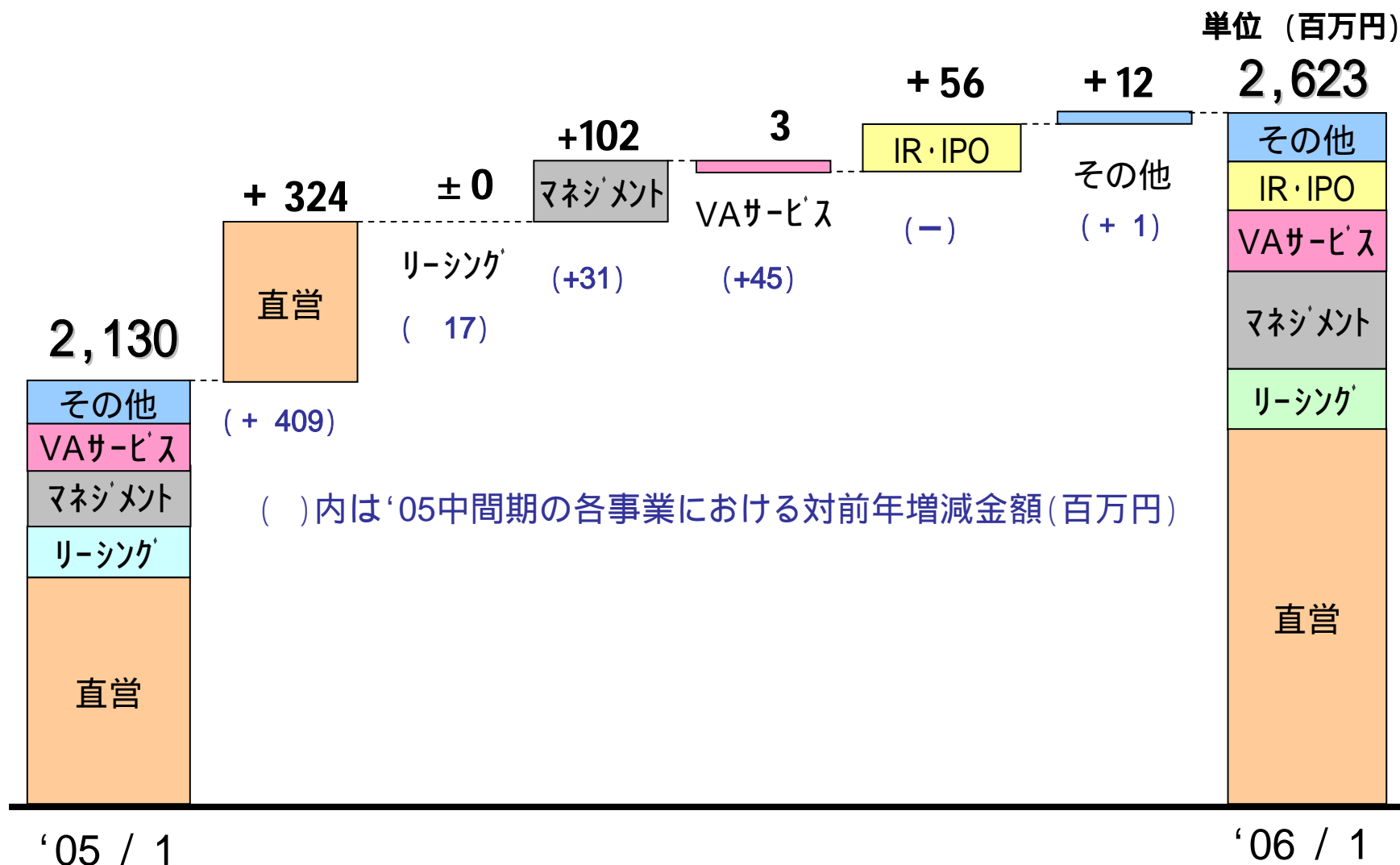
	<u>'06/01期</u> (百万円)	<u>'05/01期</u> (百万円)	<u>前年同期比</u> (%)	<u>計画比</u> *
売上高	2,585	1,523	169.7	98.3
売上総利益	1,024	592	172.8	-
営業利益	511	294	173.7	-
経常利益	830	290	286.5	113.4
当期純利益	490	184	266.4	115.4

* : 05年11月発表修正計画対比

事業別売上高変動要因【連結】



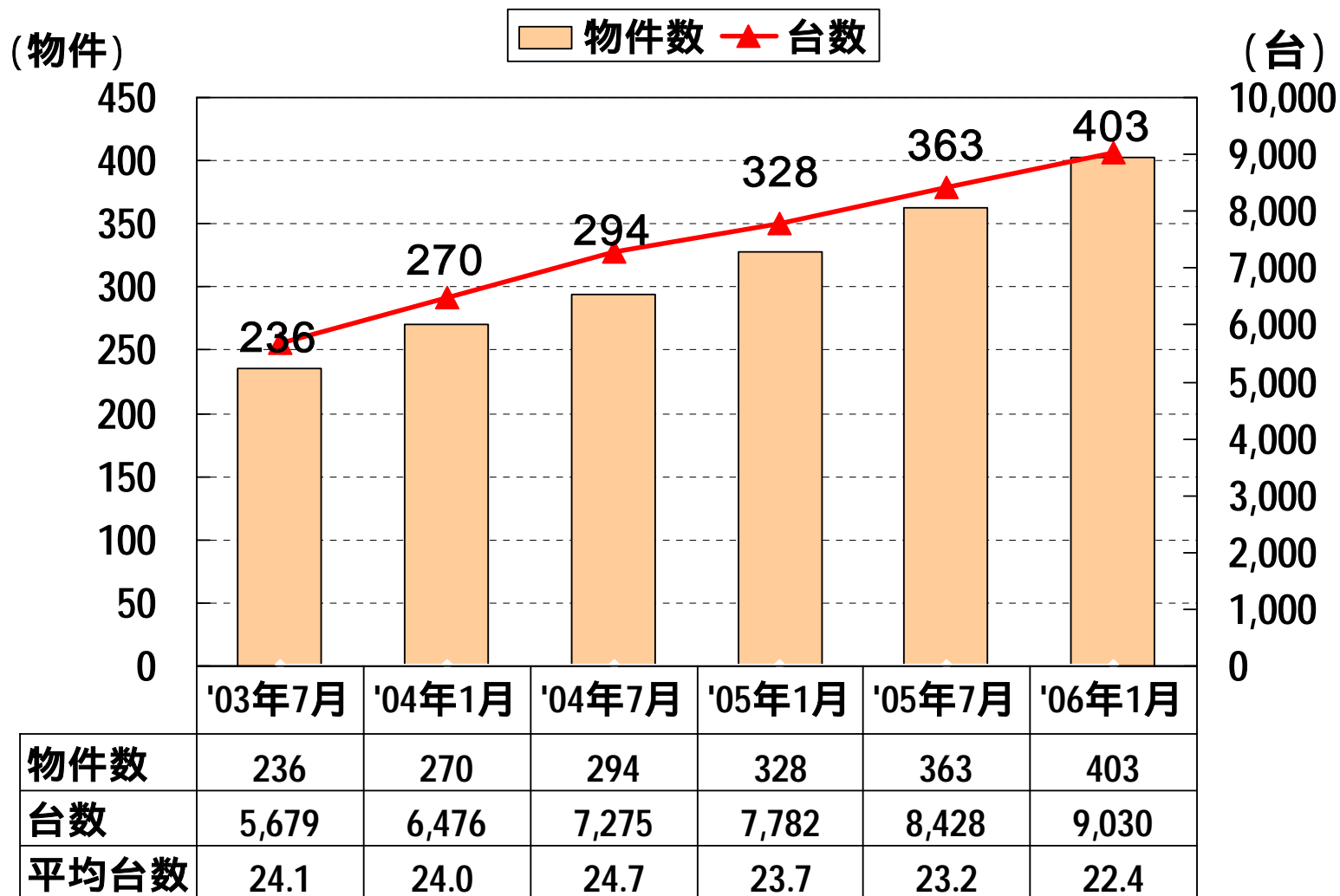
NIPPON PARKING DEVELOPMENT



直営物件の推移



NIPPON PARKING DEVELOPMENT



直営契約台数の増減分析



NIPPON PARKING DEVELOPMENT

新規53物件
と既存増車

台数増要因	物件数	契約台数	総収容台数	1物件平均契約台数	1物件平均総収容台数
新規獲得(時間貸し)	5	305		61	81
新規獲得(月極)	48	693		14	
既存物件車室増		87			
合計	53	1,085		19	

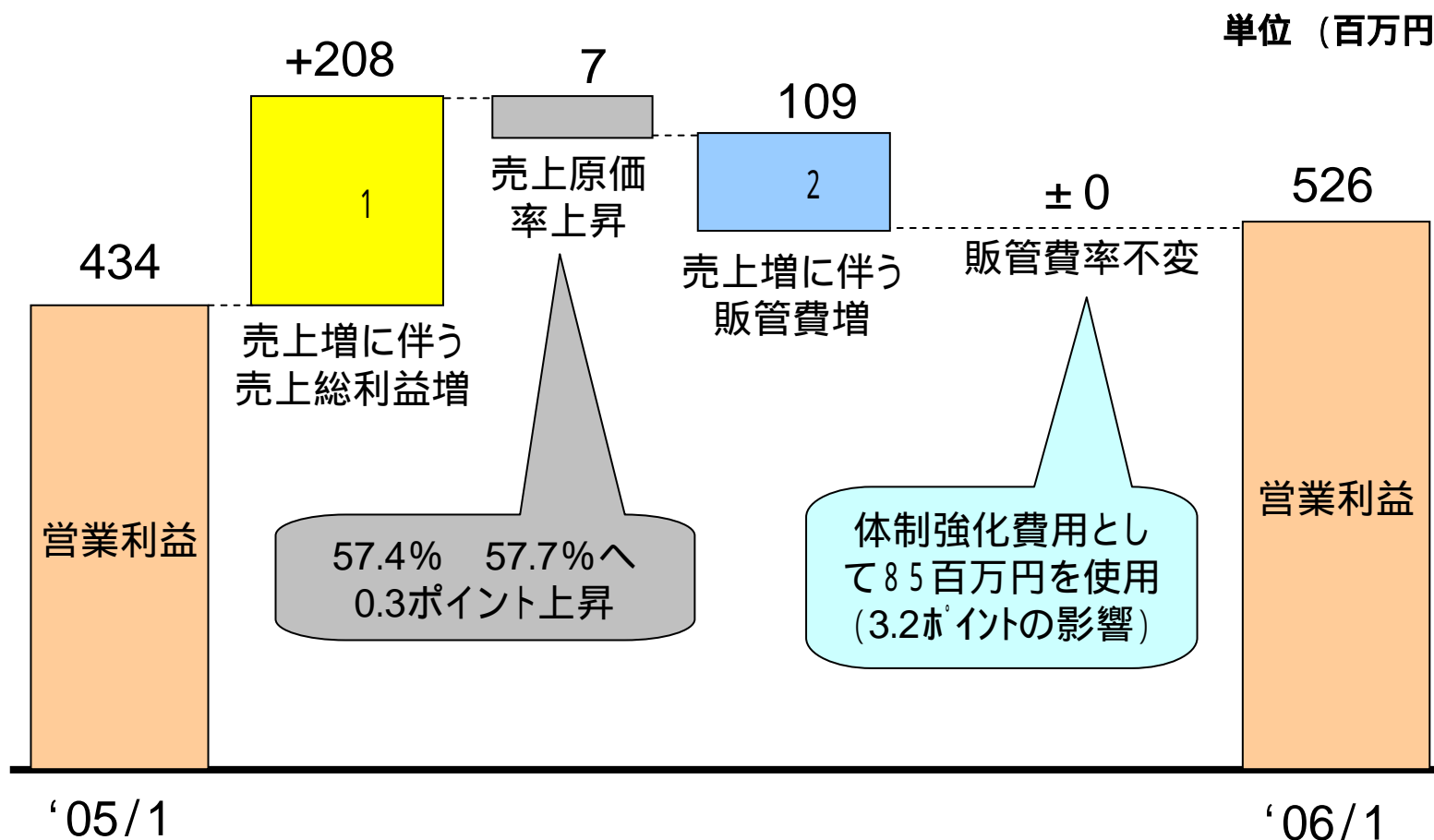
閉鎖13物件
と既存減車

台数減要因	理由	物件数	台数
予定外の台数減	短期契約期間満了	3	21
	駐車場用途変更	3	81
	オーナー都合	4	122
	運営モデル変更	2	16
	既存物件車室減		198
小計		12	438
予定内の閉鎖	短期契約期間満了	1	45
合計		13	483

営業利益変動要因【連結】



NIPPON PARKING DEVELOPMENT



- 1 ('06中間期売上高 - '05中間期売上高) × '05中間期売上総利益率
- 2 ('06中間期売上高 - '05中間期売上高) × '05中間期売上販管費率

体制強化費用



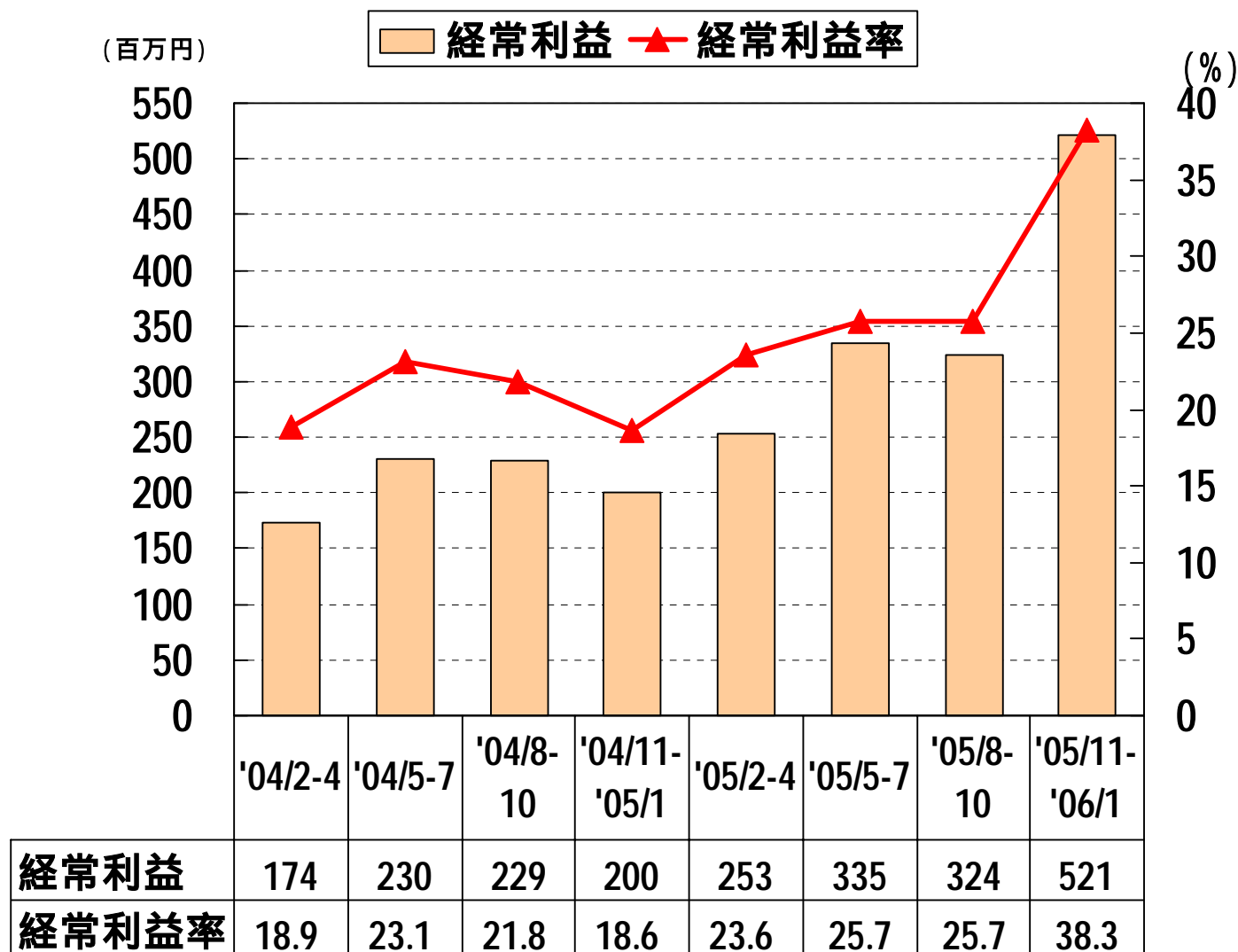
NIPPON PARKING DEVELOPMENT

	('06中間期)	('05中間期)
人材関連 人件費増、採用、幹部研修等	65百万円	<u>上場関連 28百万円</u>
IR・CI関連 アニュアル、HP刷新、新ロゴの制定等	10百万円	<u>株式分割 15百万円</u>
情報投資・セキュリティ対策 新社内システム、監視カメラ導入等	9百万円	<u>情報セキュリティ 5百万円</u>
体制強化費用計	85百万円	<u>計 48百万円</u>

四半期別経常利益(率)の推移【連結】



NIPPON PARKING DEVELOPMENT



営業外収益・費用の明細【連結】



NIPPON PARKING DEVELOPMENT

営業外収益	327百万円
投資有価証券売却益	266百万円
匿名組合投資利益	47百万円
受取配当金	11百万円
その他	1百万円
営業外費用	7百万円
支払利息	4百万円
新株発行費	2百万円

2006年7月期上半期トピックスと 今後の展開について

トピックス



NIPPON PARKING DEVELOPMENT

『日経優良企業ランキング2005年度版』

順位	企業名	総合点	規模	収益性	安全性	成長力
1	キャノン	1,000	90	67	61	54
2	トヨタ	991	100	56	53	53
3	ヤフー	989	55	79	64	91
245	日本駐車場開発	704	24	67	73	93

効率性重視から規模を意識した効率経営へ

■賃貸マンションでの直営事業開始

全国主要都市での賃貸マンション附置駐車場がターゲット

■地方公共団体等運営の駐車場への入札開始

地方公共団体等、公的セクターが管理・運営する主要駅周辺駐車場の管理業務がターゲット

■地方再開発、駅ビル等の運営コンサルティング開始

各都道府県下主要駅周辺の駐車場需要逼迫地域全てがターゲット

■地方銀行との取引開始

優良地方銀行との連携強化による地方展開のスピードアップが狙い

■IPO・IRコンサルティングの順調な立ち上がり

ハンズオン型の投資スタイルを基本とし、顧客の企業価値向上を実践

■日本スキー場開発(NSD)の設立

日本 開発・・・物質的な豊かさが生み出した
ギャップを対象に駐車場以外の素材にも事業展開



■ガバナンス強化への取組み

幹部向けコンプライアンス研修の強化、社内法務相談窓口の設置

■IR活動とその成果

【活動】日本国内：個人投資家向け説明会開催、海外：欧米でのロードショー開催

【ツール】英文ホームページの開設、英文ファクトブックの作成

【成果】株主数45,455人(半年で1.3万人増)、外国人持株比率2.5%(半年で約倍増)

下期重点取組み事項 【営業関連】

外的環境

耐震偽装
アスベスト問題

まちづくり
三法の導入

指定管理者
制度導入

道路交通法
の改正

■ 都心部での物件増、運営形態の最適化

都心部ノンアセットスタイルの継続、料金体系見直しで収益増を図る

■ 地方展開の加速

札幌支社開設(4月)、地方でのアセット所有による運営検討

■ 安全対策の強化

駐車場安全コンサル強化とセンサー設置の促進

■ 指定管理者制度での運営受託

実績確保による更なる受注増を図る

当社の課題

安全性の確保

多様な収益向上
策の提供

全国展開

良質な駐車施設の
十分な提供

下期重点取組み事項 【全社】

■ 優秀な人材の確保

IPO・IRコンサル、スキー場開発のアナウンス効果を最大限活用

■ 社員が心地よく働ける環境の確保

オフィスレイアウト・動線の変更、少子化対策を意識した規程策定

■ ガバナンス、内部統制の強化

常に株主の立場から経営を律し、正確な情報開示を担保できる組織へ

■ IR活動の強化

英文アニュアルレポートの作成

■ 資本効率、株主重視の経営

当期末指標(目標): ROE 44% 配当性向 65%

通期業績予想と前提条件【連結】



NIPPON PARKING DEVELOPMENT

(百万円)	'06年7月期予想	'05年7月期実績	対前期比
売上高	6,000	4,512	133%
経常利益	1,800 (1,626)	1,019	177% (160%)
当期純利益	1,044 (943)	612	171% (154%)
物件数	479	363	132%
台数	11,015	8,428	131%

3月3日に上方修正。()は、従来予想。



NIPPON PARKING DEVELOPMENT

ご清聴有難うございました。



NIPPON PARKING DEVELOPMENT